

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年7月19日 (2012.7.19)

【公開番号】特開2010-18789(P2010-18789A)

【公開日】平成22年1月28日 (2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-136948(P2009-136948)

【国際特許分類】

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

B 2 9 C 55/12 (2006.01)

B 2 9 K 67/00 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

B 2 9 L 9/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 5/18 C F D

C 0 8 L 67/00

B 3 2 B 27/36

B 2 9 C 55/12

B 2 9 K 67:00

B 2 9 L 7:00

B 2 9 L 9:00

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月6日 (2012.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結晶性ポリエステル樹脂 (A) と 非晶性ポリエステル樹脂 (B) を含有するポリエステル層 (P 層) を有するポリエステルフィルムであって、該ポリエステル層 (P 層) において、非晶性ポリエステル樹脂 (B) が 結晶性ポリエステル樹脂 (A) 中に扁平度 3 以上の分散体として分散しており、かつ次の条件 (I) または (II) の少なくとも一方を満たすことを特徴とするポリエステルフィルム。

(I) 非晶性ポリエステル樹脂 (B) が、ジオール成分として、脂環式ジオール成分および/または芳香族ジオール成分を有し、かつ該ポリエステル層 (P 層) における脂環式ジオール成分および芳香族ジオール成分の含有量の合計が、該ポリエステル層 (P 層) 中のジオール成分の量に対して 0.2 モル% 以上 10 モル% 以下であること。

(II) 非晶性ポリエステル樹脂 (B) が、ジカルボン酸成分として、脂環式ジカルボン酸成分、イソフタル酸成分、およびナフタレンジカルボン酸成分からなる群から選ばれる 1 以上のジカルボン成分を有し、かつ該ポリエステル層 (P 層) における脂環式ジカルボン酸成分、イソフタル酸成分およびナフタレンジカルボン酸成分の含有量の合計が該ポリエステル層 (P 層) 中のジカルボン酸成分の量に対して 0.2 モル% 以上 10 モル% 以下であること。

【請求項 2】

前記非晶性ポリエステル樹脂（Ｂ）が、次の（Ｉ'）または（ＩＩ'）の少なくとも一方を満たす、請求項１に記載のポリエステルフィルム。

（Ｉ'）非晶性ポリエステル樹脂（Ｂ）が、ジオール成分として、脂環式ジオール成分および／または芳香族ジオール成分を有し、かつ非晶性ポリエステル樹脂（Ｂ）における該脂環式ジオール成分および該芳香族ジオール成分の含有量の合計が、該非晶性ポリエステル樹脂（Ｂ）中のジオール成分の量に対して３５モル％以上９５モル％以下であること。

（ＩＩ'）非晶性ポリエステル樹脂（Ｂ）が、ジカルボン酸成分として、脂環式ジカルボン酸成分、イソフタル酸成分、およびナフタレンジカルボン酸成分からなる群から選ばれる１以上のジカルボン成分を有し、かつ該非晶性ポリエステル樹脂（Ｂ）における該脂環式ジカルボン酸成分、該イソフタル酸成分および該ナフタレンジカルボン酸成分の含有量の合計が該非晶性ポリエステル樹脂（Ｂ）中のジカルボン酸成分の量に対して４０モル％以上９５モル％以下であること。

【請求項３】

前記結晶性ポリエステル樹脂（Ａ）が、ポリエチレンテレフタレート、ポリエチレン-２，６-ナフタレンジカルボキシレート、ポリプロピレンテレフタレート、ポリブチレンテレフタレート、D-ポリ乳酸から選ばれる少なくとも１種である請求項１または２に記載のポリエステルフィルム。

【請求項４】

前記結晶性ポリエステル樹脂（Ａ）が、ポリエチレンテレフタレートである、請求項１～３のいずれかに記載のポリエステルフィルム。

【請求項５】

前記分散体の平均厚み d が２００nm以下である請求項１～４のいずれかに記載のポリエステルフィルム。

【請求項６】

初期ヘイズ H_0 が３％以下であり、初期ヘイズ H_0 と、１６０℃で１時間熱処理後のヘイズ H_1 との差（ $H_1 - H_0$ ）が３％以下である請求項１～５のいずれかに記載のポリエステルフィルム。

【請求項７】

融点が２４５℃以上２６５℃以下である請求項１～６のいずれかに記載のポリエステルフィルム。

【請求項８】

１５０℃で３０分熱処理したときの熱収縮率が１％以下である請求項１～７のいずれかに記載のポリエステルフィルム。

【請求項９】

前記ポリエステル層（Ｐ層）が二軸配向ポリエステル層である請求項１～８のいずれかに記載のポリエステルフィルム。

【請求項１０】

少なくとも、前記ポリエステル層（Ｐ層）が両側表層に位置し、内層にポリエステル層（Ｐ２）層を有する積層構成であり、かつポリエステル層（Ｐ層）の固有粘度〔 IV_p 〕が０．６５以上かつポリエステル層（Ｐ層）の固有粘度〔 IV_p 〕とポリエステル層（Ｐ２層）の固有粘度〔 IV_{p2} 〕との差〔 IV_p 〕－〔 IV_{p2} 〕が０以上０．１５以下である請求項１～９のいずれかに記載のポリエステルフィルム。

【請求項１１】

前記ポリエステル層（Ｐ層）が、エステル交換反応抑制剤を、Ｐ層を構成する樹脂全体に対して０．０１重量％以上２重量％以下添加してなる、請求項１～１０のいずれかに記載のポリエステルフィルム。